

人形峠環境技術センター周辺における平常時モニタリングの実施範囲及び主な実施項目※1

目的	実施範囲	実施項目		採取・測定頻度	測定対象
①周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価	原子力施設近傍	大気中の放射性物質の濃度の測定	大気浮遊じん	連続測定している大気浮遊じんの全αが過去の変動範囲を大幅に超過するなどの異常値を検出した場合に測定	U-238
		環境試料中の放射性物質の濃度の測定	陸生植物	連続測定している大気浮遊じんの全αが過去の変動範囲を大幅に超過するなどの異常値を検出した場合に測定	U-238
			陸水※2	1年に1回程度測定	U-238
			魚(淡水魚)※2		U-238
②環境における放射性物質の蓄積状況の把握	原子力施設近傍	環境試料中の放射性物質の濃度の測定	土壌及び河底土※2	1年に1回程度測定	U-238
③原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価	原子力施設近傍	大気中の放射性物質の濃度の測定	大気浮遊じん	連続測定	全α

環境放射線モニタリングの基本的な指標として、γ線による空間放射線量率の連続測定を実施する。

※1 人形峠環境技術センターは廃止措置を二段階に分け、現在、第1段階におけるウラン濃縮原型プラントのうちカスケード設備、UF₆処理設備、均質設備及び滞留ウラン除去設備の加工設備本体（濃縮施設）並びに分析設備の解体・撤去に係る作業を開始し、核燃料物質の貯蔵施設に原料ウラン、濃縮ウラン及び劣化ウランを貯蔵している。第2段階における平常時モニタリングの実施範囲及び主な実施項目については、この段階における廃止措置計画が認可された段階で、必要に応じ検討することとする。

※2 陸水、魚（淡水魚）及び河底土の採取・測定は、人形峠環境技術センターからの排水が流入する地域で実施する。